



写真集



7月13日（土）

平和大使 事前説明会

平和大使としての任務や心構えの説明を受け、真剣に聞きました。

説明のあとは、平和学習。

みんなで「平和」について考え、自身
が思う「平和」について意見を出し合
いました。



昨年の平和大使2名が説明会に参加し
て、体験談と今、「平和」について何を
考えているのか話してくれました。



千羽鶴づくりに挑戦しました。

わからないことは教え合いなが
ら、たくさんできました。



7月23日（火）

平和大使 結団式

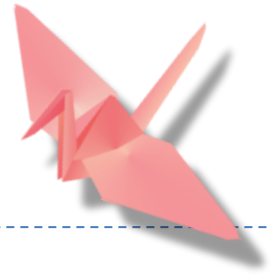
平和大使として任命証と干羽

鶴を受け取ります。



「皆さんのような、平和への志を持った
30名を、流山市の代表者として、広島
市へ派遣できることを誇りに思いま
す。」という市長の言葉。改めて平和大使
としての使命というものを感じました。





8月5日(月)

被爆体験伝承者の講話を真剣に聞きました。その後、平和記念公園へ行き、千羽鶴を献納しました。





平和記念資料館と原爆ドームの見学をしました。夕食は、名物のお好み焼き。

夜は、ホテルでミーティングです。今日見たことや聞いたことについて意見や

感想を話し合いました。

8月6日（火）

平和記念式典に参加しました。他のたくさんの方々と、平和への願いを一つにしました。



流山市の平和に関する取り組み

平和都市宣言

私たちは、平和と繁栄を市民憲章にうたい、「豊かで活力ある文化都市」流山の実現をめざしている。

私たちの国は、世界でただひとつの被爆国として、広島・長崎のいたましさと被爆者の苦しみをすべての人びとに訴え、人類共通の願いである恒久平和を達成させなければならない。

私たちは、日本国憲法の平和精神にのっとり、武力による紛争をなくし非核三原則をまもり、すべての核兵器をすてることを訴え、世界平和確立のため、ここに平和都市を宣言する。

昭和62年1月1日 流山市

平和の像



流山市は、昭和62年1月1日、市制施行20周年を迎え、これを契機に平和都市を宣言しました。

そのおり、朝倉家御遺族の御理解のもとに東京都台東区から朝倉文夫作「姉妹」像の寄贈を受け、これを、「平和の像」として市役所庁舎前のプラザの一画に建立しました。

本作品は、朝倉翁が昭和22年、戦いが終わり平和の喜びを心に秘めて制作したものとされており、本市が願う世界恒久平和のシンボルとして、永く後世に伝えるものです。

平和施策事業

流山市では、以下の平和施策に関する事業を毎年展開しています。

- 平和大使広島派遣事業
- 平和ポスター展
- 平和祈念の千羽鶴の作成
- ユニセフ平和教室